



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 長野日本無線株式会社

コード番号 6878 URL <http://www.njrc.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 丸山 智司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員総務本部長

(氏名) 佐々木 敦則

TEL 026-285-1111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	19,592	△3.7	417	△9.3	241	30.8	189	195.8
23年3月期第3四半期	20,344	△3.1	460	8.7	184	101.0	64	53.0

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 227百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 4百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	5.20	—
23年3月期第3四半期	1.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	23,357	4,095	17.5
23年3月期	22,757	3,867	17.0

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 4,095百万円 23年3月期 3,867百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	7.8	1,200	18.1	850	24.8	750	50.6	20.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	36,420,538 株	23年3月期	36,420,538 株
24年3月期3Q	9,196 株	23年3月期	7,916 株
24年3月期3Q	36,411,587 株	23年3月期3Q	36,413,022 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績予想等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9
4. 補足情報 .....	10
(1) 生産実績 .....	10
(2) 受注実績 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災に引き続き、欧州諸国の財政不安に端を発した世界的な景気減速、歴史的な円高や株安の長期化、さらにはタイの洪水の影響などから、先行き不透明感を強めつつあります。

このような経営環境のもと、当社グループは上半期に引き続き、グローバル化の深耕、付加価値製品への転換、業務プロセスの改革を積極的に推進しています。

売上高は、情報・通信機器セグメントが堅調に推移したものの、メカトロニクス機器および電源・エネルギー機器セグメントが低迷し、195億9千2百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

利益につきましては、売上高の減少により、営業利益は4億1千7百万円（前年同期比9.3%減）となりました。経常利益は債務圧縮に伴う支払利息の削減などにより、2億4千1百万円（前年同期比30.8%増）となりました。四半期純利益は前年度に特別損失として計上した「資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額」等が当期はなくなったことから、1億8千9百万円（前年同期比195.8%増）となりました。

セグメント別の売上高および利益は、以下のとおりであります。

なお、セグメント利益は、配賦不能営業費用控除前の営業利益であります。

#### (情報・通信機器)

公共インフラ設備機器は減少しましたが、業務用端末機器は増加しました。この結果、本セグメント全体の売上高は91億8千1百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

営業利益は4億3千6百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

#### (メカトロニクス機器)

三次元造形機は増加しましたが、大判複写機や複写機周辺機器などの事務用機器は減少しました。この結果、本セグメント全体の売上高は52億4千1百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

営業利益は3千4百万円（前年同期比53.2%減）となりました。

#### (電源・エネルギー機器)

ノートパソコン用ACアダプタなどのコンシューマ電源が減少しました。この結果、本セグメント全体の売上高は43億7千6百万円（前年同期比18.2%減）となりました。

営業損失は1億4千4百万円（前年同期は営業損失1億6千3百万円）となりました。

上記のセグメントに含まれない「その他」の売上高は7億9千2百万円、営業利益は1億7百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は233億5千7百万円と前連結会計年度末と比較し5億9千9百万円増加しました。

仕掛品の増加15億5千3百万円、製品及び商品の増加3億1千6百万円、受取手形及び売掛金の減少16億4千9百万円などが主な要因です。

負債総額は192億6千2百万円となり、前連結会計年度末と比較し3億7千2百万円増加しました。

支払手形及び買掛金の増加12億4千6百万円、短期借入金の増加6億6千2百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少7億6百万円、長期借入金の減少10億3千9百万円などが主な要因です。

純資産は40億9千5百万円となり、前連結会計年度末と比較し2億2千7百万円増加しました。

利益剰余金の増加1億8千9百万円などが主な要因です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期業績予想につきましては、平成23年5月9日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（法人税率の変更等による影響）

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）および「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引き下げおよび復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産および繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、一時差異等に係る解消時期に応じて以下のとおりとなります。

平成24年3月31日まで 40.4%

平成24年4月1日から平成27年3月31日まで 37.8%

平成27年4月1日以降 35.4%

この税率変更により、繰延税金資産の金額は2百万円、繰延税金負債（再評価に係る繰延税金負債を含む）の金額は7千7百万円減少し、法人税等調整額は2百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,323,340	1,264,603
受取手形及び売掛金	8,886,556	7,236,811
商品及び製品	467,485	784,079
仕掛品	4,700,857	6,254,613
原材料及び貯蔵品	1,018,557	1,022,645
繰延税金資産	300,834	302,745
その他	222,117	640,450
貸倒引当金	△29,882	△24,594
流動資産合計	16,889,866	17,481,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,458,627	1,403,850
機械装置及び運搬具（純額）	143,163	264,559
土地	3,432,429	3,432,429
リース資産（純額）	290,457	239,837
その他（純額）	64,327	77,011
有形固定資産合計	5,389,004	5,417,687
無形固定資産	41,345	55,544
投資その他の資産		
投資有価証券	207,766	175,438
繰延税金資産	21,791	21,352
その他	234,035	226,666
貸倒引当金	△26,142	△20,642
投資その他の資産合計	437,451	402,815
固定資産合計	5,867,801	5,876,047
資産合計	22,757,668	23,357,401

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,644,641	6,890,768
短期借入金	3,838,000	4,500,000
1年内返済予定の長期借入金	2,466,932	1,760,552
未払金	258,444	300,289
未払費用	244,630	389,459
未払法人税等	91,867	33,844
製品保証引当金	13,448	13,448
その他	382,331	528,531
流動負債合計	12,940,296	14,416,892
固定負債		
長期借入金	4,515,083	3,475,209
繰延税金負債	19,808	7,472
再評価に係る繰延税金負債	613,793	537,019
退職給付引当金	445,329	469,346
役員退職慰労引当金	12,075	12,361
環境対策引当金	16,964	16,964
資産除去債務	82,337	83,679
その他	244,284	243,141
固定負債合計	5,949,677	4,845,194
負債合計	18,889,973	19,262,086
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,649,580	3,649,580
資本剰余金	2,840,440	2,840,440
利益剰余金	△3,388,299	△3,198,777
自己株式	△1,483	△1,673
株主資本合計	3,100,237	3,289,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,064	6,521
土地再評価差額金	904,069	980,842
為替換算調整勘定	△157,675	△181,618
その他の包括利益累計額合計	767,458	805,745
純資産合計	3,867,695	4,095,314
負債純資産合計	22,757,668	23,357,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	20,344,540	19,592,890
売上原価	17,858,585	17,199,723
売上総利益	2,485,955	2,393,166
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	206,515	196,222
給料	1,043,502	1,027,397
退職給付費用	48,701	48,416
その他	726,619	703,428
販売費及び一般管理費合計	2,025,339	1,975,465
営業利益	460,615	417,701
営業外収益		
受取利息	475	320
受取配当金	3,184	3,262
受取賃貸料	6,469	5,858
助成金収入	30,854	2,508
その他	25,533	16,712
営業外収益合計	66,517	28,661
営業外費用		
支払利息	201,728	131,785
売上債権売却損	25,907	29,728
為替差損	95,161	37,063
その他	19,347	5,810
営業外費用合計	342,144	204,387
経常利益	184,988	241,974
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,064
貸倒引当金戻入額	18,273	—
特別利益合計	18,273	6,064
特別損失		
環境対策引当金繰入額	16,964	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	66,011	—
特別損失合計	82,975	—
税金等調整前四半期純利益	120,287	248,038
法人税、住民税及び事業税	70,592	61,594
法人税等調整額	△14,385	△3,077
法人税等合計	56,207	58,516
少数株主損益調整前四半期純利益	64,080	189,521
四半期純利益	64,080	189,521

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	64,080	189,521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,078	△14,542
土地再評価差額金	—	76,773
為替換算調整勘定	△45,439	△23,942
その他の包括利益合計	△59,518	38,287
四半期包括利益	4,561	227,809
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,561	227,809
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報・通 信機器	メカトロ ニクス機 器	電源・エ ネルギー 機器				
売上高							
外部顧客に対する売上高	8,550,332	5,627,910	5,349,101	817,195	20,344,540	—	20,344,540
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	3,242	45,196	2,467,570	2,516,024	△2,516,024	—
計	8,550,347	5,631,153	5,394,298	3,284,766	22,860,565	△2,516,024	20,344,540
セグメント利益又は損失 (△)	483,867	73,861	△163,255	112,941	507,415	△46,799	460,615

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話機器の販売事業およびソフトウェア開発や製造の請負事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	507,415
全社費用	△83,685
セグメント間取引消去	66,150
その他	△29,265
四半期連結損益計算書の営業利益	460,615

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報・通 信機器	メカトロ ニクス機 器	電源・エ ネルギー 機器				
売上高							
外部顧客に対する売上高	9,181,584	5,241,917	4,376,551	792,836	19,592,890	—	19,592,890
セグメント間の内部売上高 又は振替高	373	2,299	4,081	3,146,731	3,153,485	△3,153,485	—
計	9,181,958	5,244,216	4,380,632	3,939,567	22,746,375	△3,153,485	19,592,890
セグメント利益又は損失 (△)	436,916	34,598	△144,376	107,933	435,071	△17,370	417,701

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話機器の販売事業およびソフトウェア開発や製造の請負事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	435,071
全社費用	△52,664
セグメント間取引消去	70,852
その他	△35,557
四半期連結損益計算書の営業利益	417,701

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

- (6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産実績

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	前年同期比 (%)
情報・通信機器 (千円)	9,145,779	114.0
メカトロニクス機器 (千円)	5,275,331	115.5
電源・エネルギー機器 (千円)	4,707,389	63.7
その他 (千円)	163,762	116.8
合計	19,292,262	95.9

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 金額は販売価格によっております。  
3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	前年同期比 (%)
情報・通信機器 (千円)	9,874,300	103.4
メカトロニクス機器 (千円)	5,614,002	99.2
電源・エネルギー機器 (千円)	4,428,477	75.1
その他 (千円)	792,836	97.0
合計	20,709,617	94.5

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。